

CCTV設備更新工事における安全対策について

(株) ほかつ 令和4年度土石流監視システム更新工事

工 期 自令和4年9月15日 至令和5年3月24日

現場代理人 ○三上 智司
主任技術者 三上 智司

【キーワード】交通安全対策 感染予防対策



1 はじめに

本工事は土石流災害情報処理装置等のハードウェア故障時の部品供給サービスが満了しているため、障害発生時の復旧が困難となることから本システムの更新を行うものです。

以下では、本工事にあたり実施した安全対策について記載する。

2 工事概要

工事場所 神通川水系砂防事務所、栃尾出張所

工事内容

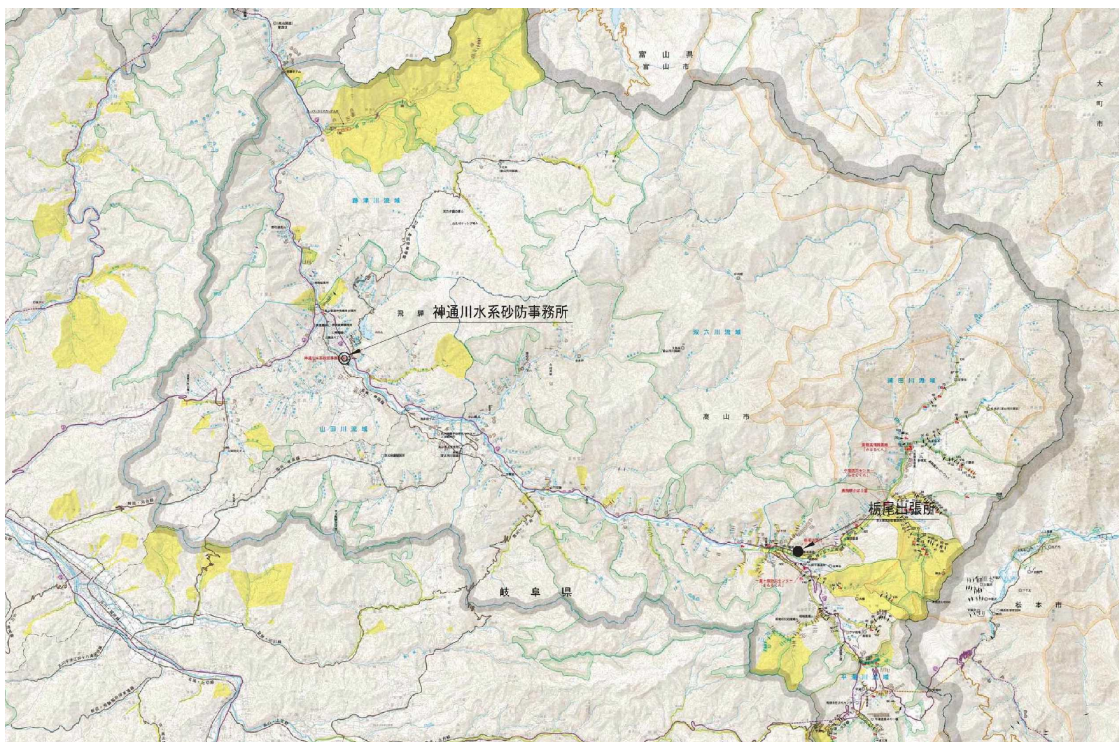
【機器更新】

(神通川水系砂防事務所)

土砂災害情報処理装置1台、土石流WEBサーバ1台、コンソール装置1台、HUB1台、警報灯2台

(栃尾出張所)

警報灯1台



3 冬期の現場への交通安全

施工時期が冬期間のため、現場への行き帰り時の工事車両事故を防ぐ必要がありました。

降雪、積雪によるスリップ事故を防ぐため夏用タイヤを冬用タイヤへの早めのタイヤ取替えを11月初旬に実施しました。運転免許証を取得して雪道の運転に慣れていないドライバーに対して安全運転教育ビデオの視聴をしました。

3. 1 準備

ビデオ「雪道走行の基本」を通して視聴したドライバーは、下記内容について学び、自分の運転を見直す良い機会となりました。

内容（普通の道路との違い、雪が降る前の準備、雪道の走行の仕方の基本、もしも雪にハマったら）

また、富山県警察本部より送られてくる「セフティドライバーズ インフォメーション」を活用して社員への注意喚起を実施しました。

**vol. 71**

セフティドライバーズ インフォメーション
Safety Drivers 情報

令和4年11月30日(水)
富山県警察本部交通企画課
(076)441-2211(代)

**雪道を乗り切る冬装備！**

積雪・凍結道路でのトラブルを防ぐには、車の点検も含めた事前準備が大切です。
万が一のスタックや車上待機等に備え、しっかりと装備しておきましょう。

スタッドレスタイヤの交換！

急な降雪に備え、早めにスタッドレスタイヤに交換しましょう。また、スタッドレスタイヤの寿命はプラットフォームで確認できます。残り溝の深さが新品の半分になったら交換しましょう。

プラットフォームが露出したら交換しましょう！



車に備えておくと安心グッズ！

冬場は天候の急変等で、道路が通行止めになることがあります。事前に目的地までの気象・交通情報を収集しておきましょう。

また、万一に備えて、**必要な携行品**を準備しておきましょう。

☐長靴・軍手 ☐防寒着・毛布 ☐スノーブラシ ☐スコップ ☐スタック脱出用グッズ ☐タイヤチェーン ☐ブースターケーブル ☐牽引ロープ ☐解氷剤 等

車両点検のポイント！

バッテリー

寒さによって能力は低下します。
十分な電圧があるか、ガソリンスタンドなどで確認してもらいましょう。

エンジンオイル

気温が低くても、オイルの粘度の柔らかさを保つことができるものを選びましょう。

冷却水

量はもちろん、濃度も確認しましょう。
濃度が薄いと凍結してラジエーターが破損するおそれがあります。寒冷地仕様で不凍性の高いものを選びましょう。

ワイパー

視界を確保するために、ワイパーゴムが硬くなってないか、傷や割れ目がないか確認しましょう。

ウォッシャー液

使用する機会が増えるので液量を確認しましょう。原液や寒冷地仕様のものを入れると凍りにくくなります。



見えにくいなー！ワイパーを交換だ！

(参考文献：富山県警察本部ホームページ)

3. 2 運転前

アルコールチェックを行い、飲酒運転とならないよう確認して、結果を現場代理人に連絡するようにしました。天気予報を確認して現地までの時間を予想して慌てないよう余裕を持った行動をとるようにしました。また、次項について周知させました。(運転前に車両の雪を落とす。靴底の雪を落として乗車する。暖気中は、マフラーの周りに雪がないことを確認する。)

3. 3 運転中

路面状況・天候に合わせた運転を心がけ気持ちに余裕をもった運転をするようにしました。急発進・急ブレーキの禁止、日影や橋の上など路面が凍結している可能性があるので特に注意するよう周知しました。もし、待ち合わせ時間に遅れるような場合は、現場代理人にその旨を連絡することで心に余裕ができ慌てて運転することがなくなりました。

3. 4 運転後

駐車位置は、出やすいようにバック駐車するよう指導したことで発進時の事故リスクを低減しました。事前に天気予報を確認して降雪・積雪等で出発時に慌てないようにすることと睡眠不足にならないよう指導しました。

4 感染予防対策

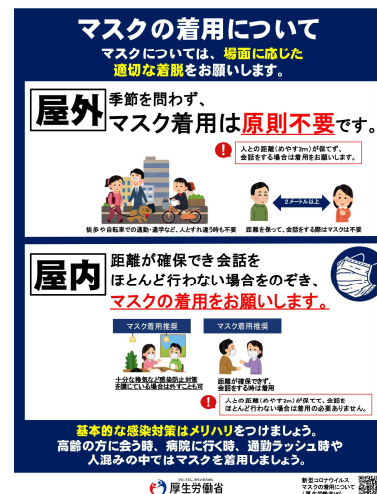
冬期期間中は、新型コロナウイルス、インフルエンザ予防対策として作業員に出勤前に検温してもらい、37℃以上ある場合は出勤せず感染が疑われる症状の有無を確認しました。また、体調不良が見られる場合も出勤しないよう指導しました。

4. 1 【新型コロナウイルス対策】

新型コロナウイルス対策を現場では、除菌用アルコールを用意し、作業員の手指除菌に努めました。

室内作業中は、マスク着用し休憩中の会話は2mを目安に距離を確保するよう努めました。食事中は黙食を励行し、喋る時はマスク着用を努めました。

作業員には、コロナ感染予防において日常生活での3つの密(密閉・密集・密接)を避けて手洗い、アルコール除菌を心掛けるようお願いして実行してもらいました。



マスクの着用について

4. 2 【インフルエンザ対策】

インフルエンザ予防接種を推奨しました。特に高齢者や基礎疾患のある方には、罹患すると重症化する可能性が高いことを理解してもらいました。

現場では、インフルエンザの予防対策で咳エチケット（マスク、ティッシュ・ハンカチ、上着の内側や袖で覆う）と手洗いの励行を作業員に実施してもらいました。



咳エチケット



手洗い

高齢者のインフルエンザは重症化することがあります。流行する前のワクチン接種などが有効です。

インフルエンザとは
インフルエンザはインフルエンザウイルスに感染して起こります。35歳以上の高齢者、頭痛や関節痛、発熱などの症状が急に現れ、高齢の方や慢性的な基礎疾患を持つ方は重症化する可能性があります。

インフルエンザを予防する有効な方法

- 流行前のワクチン接種が有効です。ワクチン接種を受けた高齢者は、死亡の危険が1/5に、入院の危険が約1/3にまで減少することが期待できるとされています。流行ワクチンの安全性はきわめて高いと評価されています。
- 手洗いやアルコール製剤による手指衛生も有効です。手洗いで付着したウイルスを洗い落とすことや、アルコール製剤による手指の消毒もインフルエンザウイルスに有効です。
- 感染を避けるために「咳エチケット」を心がけてください。インフルエンザは、主に、咳やくしゃみの際に口から発生する小さな水滴によって感染します（飛沫感染）。鼻汁が「咳エチケット」で他の人に向けて飛ぶのを防ぐことが重要です。③手のひらで咳やくしゃみを受け止めた後手を洗うことが有効です。

詳細については、お住まいの市区町村にお問い合わせください。

厚生労働省 公財財団法人 予防接種リサーチセンター

インフルエンザは例年12月から3月にかけて流行します。ワクチンは重症化の予防効果が認められています。

予防接種法に基づく定期のインフルエンザ予防接種の対象

インフルエンザにかかると重症化しやすく、特に接種の意義が大きい以下の方は定期の予防接種の対象となります。予防接種を希望する方法、かかりつけの医師にご相談ください。

- 65歳以上の方。
- 60～64歳で、心臓や腎臓、呼吸器の機能に障害があり身の回りの生活を補助する必要がある方。
- 60～64歳で、ドルト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害があり日常生活がほとんど不可能な方。

インフルエンザワクチン接種の実施期間や費用

インフルエンザワクチンは自治体による実施期間や費用が異なります。詳細や接種可能な医療機関などについては、お住まいの市区町村にお問い合わせください。

インフルエンザワクチン接種による副作用

インフルエンザワクチンは、ウイルスの活性を失わせて、免疫をつくるのに必要な成分を取り出し、毒性をなくした「不活化ワクチン」です。接種によってインフルエンザを発症することはありません。比較的多く見られる副作用は、接種部分の発赤や腫れ、痛みなどで、通常は2～3日でなくなります。一方で、まれに重いアレルギー反応があらわれることが、知られる症状がある場合は医師に相談してください。

予防接種健康被害救済制度について

定期の予防接種による副作用のために、医療機関で治療が必要な場合や生活が不自由になった場合（健康被害）は、法律に定められた救済制度（健康被害救済制度）があります。制度の利用を申し込むときは、お住まいの市区町村に相談してください。制度を利用するためには、一定の条件があります。※詳細は、厚生労働省HPをご覧ください「予防接種 救済制度」で検索できます。

高齢者のインフルエンザ

（参考文献：厚生労働省ホームページ）

5 おわりに

本工事は冬期工事であり室内作業に限った現場です。無事に完成するよう工事関係者一丸となって無事故・無災害達成するよう努めていきます。